

■■■ 理事からの新年の挨拶 ■■■

セヘ ポク マニ パドゥプシヨ（新年、福をたくさんうけとってください）。

昨年は、新型コロナウイルス（Covid-19）が世界を席卷し、日常のくらしが日々奪われる、剥奪の年であったように感じます。

幸いなことに新しい年をK F Cは、多くの利用者、支援者、ボランティア、スタッフの協力で、無事迎えることが出来ています。それは、視野を広げると、医療や介護、宿泊施設という現場の最前線で懸命に働いている従事者、日々日用品や食事を供給してくれている流通や小売り、飲食事業を支えてくれている人々、その子どもや家族、人が分断される中で人をつなぐ仕事を支えてくれる人によってあるのだと考えます。

今年は、社会の厳しさがより増すかもしれません。社会の厳しさは、社会的弱者にまず覆い被さります。K F Cは、その人たちが排除されたり取り残されたりしないように多くの人々と尽力します。

その一人となれるよう、またK F Cにかかわる人たちが、意義を感じることができるよう「全集中の呼吸」で責任を果たせればと思っています。（理事長 金 宣 吉）

セヘポンマ〜ニパドウセヨ!! 明けましておめでとうございます。昨年は、誰も想像もしなかった

「コロナ禍」の中で、皆さんも、本当に大変な日々を堪えてこられた事とお察しいたします。「コロナ禍」の被害も私たちマイノリティには、より厳しい日本社会の現実ではないかと実感します。外国人市民の自立支援の為に活動しているK F Cですが、介護、日本語支援、奨学金事業、子ども支援など、それぞれの持ち場で頑張ってこられた皆さんには、心からの敬意と感謝を申し上げたいと思います。本当にお疲れ様でした。

これからも、弱い立場の人たちをもっと追い込むような事が予想されます。私たちはもっとしっかりと粘り強く、知恵と力を合わせなければいけないと思います。今年も、明るく元気に一緒に頑張っていきましょう!!

（副理事長 李 圭 燮）

明けまして、おめでとうございます。

私事になりますが、昨年3月に娘が生まれ、「はな」と名付けました。妻は学生時代にK F Cのハナの会でボランティアをしていたことがあり、わたしは子ども食堂をハナの会の場所を借りてやってきました。K F Cでの出会いと人のつながりに感謝しています。

日本で暮らす外国人にとって、またK F Cにとって、コロナ禍は大きな試練です。こういう時こそ人間同士がつながり、新しい工夫を試み、よりよい社会を創っていけるように努力していきましょう。

（理事 片田 孫 朝日）

明けましておめでとうございます。新しい日常で劇的に減って良かったことは、「移動」「不要な会議」「紙の配布物」。一方で、友人と楽しく談笑しながらの食事、近所を散歩中の犬に駆け寄って戯れることもガマンの一年。私にとってはその程度かもしれないけれども、この変化の影響は見えにくいところで、決して小さいものではない事も心に留めておきたいです。今年も、しっかり深呼吸していきましょう！（理事 野崎 志帆）

2020年はパンデミックが人々を分断するものであることを痛感させられる一年でした。また、人類が大きな転形期に差しかかっていることを実感する一年でもありました。パンデミックは今後も簡単には収束しないと思いますが、我々は2020年の試練の中で得たさまざまな経験知を胸にしまいつつ、

2021年を迎えたいと思います。よろしくお願い申し上げます。 (理事 樋口 大祐)

2020年はコロナ一色でした、自粛生活の中で、展望とか夢は語りにくいものです。

2021年は遅くない時期に、生活が元通りになることを期待しています。

今年は古希です。この数年、毎年夢や希望、努力目標を10掲げて、それに沿って生活してきました。文化的には、月5本以上の映画を見ること、月7冊以上の本を読む。健康的には自宅の往復を歩く。仕事の的には、今年の春で5年目に入ります。後継者を作りたいと思っています。今年も強い意志を持っていきたいと思っています (山根 香代子)

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言、その後の2次感染、3次感染と感染の拡大が止まらない事態が続いてきました。景気の後退による失業、破産の増加など出口が見えない状況が続いています。特に外国人に対する様々な偏見や流言飛語も蔓延しています。このような状況であるからこそ、相互理解と協力が不可欠です。これからも定住外国人の権利擁護のために、K F Cの活動に貢献できるようがんばります。今年もよろしくお願いします。(理事 吉井 正明)

■■■K F C外国にルーツを持つ子どもの学習支援■■■

◆学習支援の近況

外国にルーツを持つ子どもの学習支援では、現在小学生の学習者が増加しています。感染対策のために、まず来たら子どもも支援者も手洗いをしてもらっていますが、そのほかにも換気扇を回して、加湿器をつけて、入り口のドアを開けて換気をしながら、学習をしてもらっています。

近隣の病院や学校でもコロナ感染者が出たということを度々聞き、気が気ではありませんが、学習が途切れないようにしていきたいと思っています。

このコロナで様々な人が苦境に陥っている中、家畜や農作物の窃盗で捕まる外国人もいます。学校現場では、そういったニュースを目にした生徒たちからの、外国人生徒への陰口があったとK F Cの卒業生から聞きました。その生徒は「私じゃないのに、迷惑だから悪いことをするのはやめてほしい」と、とても悲しそうでした。

一方、10月に川に転落した自動車に乗っていた男性を救助したとして、天理署と磯城消防署は田原本町のベトナム人男性2人に感謝状を贈った、といういいニュースもありました。

今後の日本社会がどんなものになっていくのか非常に不安ですが、いいニュースや苦境に陥っている現状にももっと目を向けてもらい、コロナ収束後の日本社会がマイノリティにもやさしい社会であってほしいと思います。

今年が明るい方向に向いますように。 (志岐 良子)

■■■K F C日本語プロジェクト■■■

◆ポスター発表

1月25日(土)ポスター発表でウ バンニンさんはK F C学習者の一員として自分の学習方法を発表してくれました。その原稿を下記に載せます。

皆さんこんにちは。これから私の日本語学習について発表させていただきます。よろしくお願いします。

私はニンと申します。ベトナムから来ました。自分のスキルアップのため、去年の5月に日本の会社で働くために日本へきました。日本へ来る前にベトナムで1年半位日本語を勉強していました。ベト

ナムでは最初に会社の日本語トレーニングコースに参加しましたがあとはほとんど独学でした。日本に来て会社生活では日本語のコミュニケーションは時々ありますが仕事の話だけです、もっとコミュニケーションをとりたくて日本語学校に行くと決めました。昼間は仕事ですので夜学校へ参加しました。それはKFCセンターです。最初は自分の日本語はまだ下手ですから他の高いレベルの方と一緒に勉強するのは大丈夫かなと心配していたんですが、学校の勉強式はマンツーマンですのでほんとうによかったです。マンツーマンですから自分のレベルと自分の勉強方法に自由に合わせていけますし、そして会話の機会も増えます。例えば私は普段とちょっとちがいますが映画とか新聞などで日本語を勉強するのが好きです。それで映画を見る時何か知らないところがあればノートしてクラスで先生に聞いたり、先生も短く面白い新聞を準備してくれて難しい漢字は読めるように頭にはひらがなをつけておいてくれて、私は新聞を読んで先生と内容を理解します。伝統的な学習方法と違い新聞とか映画は面白いですから勉強意欲がなくならないのでいつも学校へ行きたいと思います。そして、日本語を勉強するだけではなく、学校には日本の文化とか料理の作り方も先生たちが教えてくれて嬉しいです。私の今年の目標は日本語の映画を字幕なしで理解できるように頑張っていきます。以上です、ご清聴ありがとうございます。

■■■ ハナ介護サービス ■■■

◆コロナ禍での高齢者の生活の変化

丁度、この記事を書いている時期(2020年12月初め)にも、ここにきて、新長田のKFC近隣でも、医療機関や高齢者施設等でも、クラスターが発生し、本当に身に迫る思いです。我々の利用者さんでも、以前にもまして、ライフスタイルに変化が顕著に現れ、生活の維持、フレイル状況・身体機能の低下・コミュニケーションの機会の減少、さらには我々の運営している、デイサービス等の介護サービスへの感染リスクを危惧しての不参加等、高齢者特有の項目で不安を感じられているのが状況です。身体的な機能低下もさることながら、見えないコロナへの精神的不安は計り知れないところがあります。また、持病がある高齢者は必要な医療や介護を受ける事が難しくなった人も出てきている、このようにコロナ化で生活・社会インフラが縮小傾向にある中、これまで以上に我々を必要とする介護サービスの手法を変容させて行き、より現状に沿った高齢者支援をしていかなければならないと痛感しております。(介護支援専門員 酒井 政行)

■■■ グループホームハナ ■■■

◆コロナ禍の中、元気です

皆様、コロナウイルスの感染が広がる中、いかがお過ごしでしょうか？ハナのご利用者様は、元気に過ごされています。

グループホームハナでは、秋の遠足が中止になり、少しでも、室内で楽しんでもらおうと、寿司パーティーを開催しました。2階は男性職員が寿司職人となって握り、3階は手巻きずしを利用者と一緒に楽しみました。最初から、ネタとシャリが用意されていて、自宅で楽しめる寿司のセットのようです。どちらのフロアーでも非常に好評で、普段、食事量が少ない利用者もたくさん召し上がられました。「また、お寿司を食べたい」との声もあり、3階では、別の行事の時にも提供しようと計画しているようです。

12月に入り、感染の第3波のため、1階の面会室で行っていた家族との面会も12月9日から中止となりました。例年は、クリスマス会を小規模多機能とグループホームで合同開催し、ご希望されるご家族様にも参加してもらっていますが、今年は職員と利用者のみで、各フロアーで行う事になりました。少し寂しい年末でしたが、今年は、この状況が改善され、ご利用者様とご家族様が一緒に、楽しく行事に参加出来るようになればと願っています。

今年もハナをよろしく願います。（施設長 森 佳緒里）

■■■ ハナの会■■■

◆書道の練習

土曜日の利用者さんのルーツは日本、韓国、ベトナムと中国です。国籍が違ってここでの過ごす時の活動、会話、体操などは一つになってしています。

午後の活動はレクリエーションの時間です。ある日はドミノゲーム、ある日はカラオケ、ある日は囲碁などですが、その日は書道でした。スタッフは道具を皆の前に置きました。椅子に座ってから筆の持ち方、墨の付け方、書き方の説明を真剣に耳を傾けました。皆が緊張した表情で書き始めました。最初は上手く書けませんでした。3、4回目にきれいに書けるようになり納得の仕上げになりました。最後に、好きな字を書くことにしました。初めて筆を持つ人も久しぶりに筆を持つ人も褒められると嬉しそうに笑顔になりました。とても良い書道会でした。

国籍は違ってハナの会に来ると、皆は仲良くし、同じ時間や空間を味わっています。「ここ来ると1日経つのが早い」「帰りたくないなあ」などの声を聴くと私は嬉しいです。新型コロナの影響はここでは縁がないような気がします。（コロナ感染防止対策はきちんとしています、）

利用者みなさん、ありがとう。同僚みなさん一緒に働けて嬉しいです。ありがとう。（グエンティ バッチ ラン）

■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

◆明舞地域交流会の感想

KFC帰国者交流会の活動として年に一度、明舞団地にて地域住民と帰国者の交流会を行っています。地域で活動されているNPOひまわり会の皆様にお力添え頂き、今年も実施することができました。今年はどうに開催すれば良いか苦慮しましたが、食事や近距離の交流を避けつつ、楽しめる内容を考えて実施しました。今回は帰国者2世の今江さんに感想を伺いました。

明舞地域交流会には開始以来ずっと参加してきましたが、今年は大変な状況の中で、地域交流会のプログラムはコロナの状況を考慮して、無事に開催できたのは容易ではなかったと思います。

大石さんより帰国者交流会の活動紹介を行ったのち、日本人の団体による影絵があり、その後私達帰国者が太極拳を披露しました。換気、消毒、距離の確保など安全面を工夫していたと思います。

交流プログラムの影絵は日本で初めて見ました。物語は宮沢賢治の作品で、少し難しかったですが、おもしろかったです。終わった後、実際に登場人物の影絵人形を操る体験もさせてもらい、とても新鮮でしたが、難しかったです。良い思い出になりました。

展示作品として張雨鈞さんの切り絵が展示されて、その準備を手伝いました。作品は歴史人物や蝶々などをモチーフにした切り絵で、みんな大変素晴らしい作品でした。

その切り絵の作品を熱心に鑑賞する日本人の方々が写真を撮り、「はさみですか？カッターで作ったのですか？」と興味津々でした。私は中国の伝統文化に誇りを感じました。張さんのような素晴らしい才能を持っている方は自分の技術を次世代に伝承してほしいと思います。しかし、張さんと話したことがあります。 「自分は高齢になり、健康状態もあまりよくなかった。以前のようにイベントで披露したり、教えたりするのが難しくなった。」と言っていました。とても残念ですが、仕方がないです。しかし、私達高齢者にとって趣味があることで人生が充実します。最近私もマスク作りで裁縫を始めました。脳も手先も良い刺激になり、一つの趣味として定着させたいです。

今年は色んな制限の中で暮らし、大変な一年になりましたが、来年はコロナが収束し、密を気にしなくても、地域交流のようなイベントが開催できるように心から祈ります。

今江 ゆか子(口頭で聞き取り補足：季穎)

■■■KFC日本語プロジェクト■■■

◆「オンライン対応 実習型日本語ボランティア講座」

2020年、皆さんはどんな年を過ごされましたか。3密回避、ステイホーム、GO TOトラベル？まさにコロナに振り回された年でした。日本語クラスも3月から突然の休止、緊急事態宣言下のオンライン対応、感染予防対策をしてのクラス再開など慌ただしい年でした。

1年前と比べて、日本語クラスの状況はどう変わったのでしょうか。日々の教室運営は取り戻した感がありますが、「休憩タイム」のお茶の時間はなし、クラス終了後、残っておしゃべりする人は減っています。

下記の表は文化庁の調査機関に提出している分からの抜粋です。（11月1日時点）

●クラス参加実数

支援者数 学習者数

2019年 40人 53人

2020年 30人 40人

●学習者滞日年数

2019年 2020年

1年未満 14人 1人

1～3年 35人 29人

3～5年 1人 5人

5～10年 2人 0人

10年以上 1人 3人

不明 0人 2人

支援者学習者数は共に減り、1年未満の滞日年数の学習者数も減っています。以上から、今は日本に1年以上いる人の日本語学習支援に焦点をあてないといけなことがわかります。生活のイロハや日本に慣れることより、より生活がしやすくなる内容の支援が求められているのではないのでしょうか。

★本の紹介★

ふたば国際プラザの本棚にはこんな本があります。教室に来られた際にどうぞ手に取ってみてくださいね。

『初級から超級までSTEP式日本語練習帳』

（助詞）（接続表現）（自動詞・他動詞）（授受表現）（受身・使役・使役受身）

「は」「が」「に」「で」「を」・・・どんな時に使う？

「そして」と「それから」、「しかし」と「でも」／「ドアがあく」「ドアをあける」・・・違いは何？

「あげます」「もらいます」「くれます」／「聞かれる」「聞かせる」「聞かされる」の違いは？
学習者にどうやって説明したらいいだろう？と迷うようなことが分かりやすく説明されている本で

す。

『KANJI 2500』

日本語を学ぶ外国人のための漢字辞典です。（N5～N1対応）

漢字が3センチ大の大きさで見やすく表示されていてとても見やすいです。読み方、筆順の他よく使う単語、例文が載っていて英訳もついています。漢字の意味を知りたい時に調べやすい本です。

『日本で生活する外国人のための いろんな書類の書き方』

銀行口座の開設、履歴書、住民票写しの請求書、病院で書く問診票、出生届、就学援助費申請書、転居届など……。生活の様々な場面で出くわす書き込み書類約40種類のトピックがあります。

『必携]日本語ボランティアの基礎知識』

ボランティアで教えるときの心構え、何をおしえるか、どのように教えるか、どんな教材を使って教えるか、などコンパクトにまとめられています。（岡本 道代、奥 優伽子）

■■■ふたば国際プラザ■■■

◆English Time 感想

ふたば国際プラザでは英語を使って互いの文化や経験、地域のことなどをテーマに話すEnglish Timeという英語のクラスが開かれています。今日は参加者の方々に感想文を寄せて頂きました。

老若男女、海外から日本に滞在されている外国人の方々と様々なテーマを英語で自由に語り合うイングリッシュタイムは、私にとって週末の楽しい時間です。テーマは主に文化、生活習慣、食べ物、スポーツ等自分たちの身近な内容を取り上げます。外国人の方が自分たちの知識、経験等に基づいて話すことによって、異なる文化、考え方、価値観を知ることができ、お互いを理解する上で非常に有意義です。私自身、自分の考え・知っていることを何とか説明しようと試みるのですが、英語表現・説明力の乏しさと日本の文化等の知識が十分でないことによって、なかなかうまく表現できません。いつかは外国人の方に、日本のことを上手に説明できるように、日本のことをもっと勉強して、少しでも上手に英語で説明できるようになりたい気持ちになります。これからも、この気持ちを持ちながら、多種多様な方々と異文化を楽しく交流したいと思います。（吉井 恭一）

私は、ふたば国際プラザでの毎週土曜日夕方のEnglish Timeという講座に参加するようになりました。元々私は、英語で英語圏の人々と日常会話ができることを目的・目標として、英語の学習をしていました。しかし、人前で話すことが苦手だし、しかも恥ずかしくてこんな下手な英語でこの講座に参加できるのかなあという遠慮や心配などがありました。そんな時、司会の大石さんから紹介していただいたので、知り合いがいるからと思って躊躇することなくEnglish Timeに参加したのです。English Timeではみんなが毎回一つのトピックについて英語で議論します。最初は、私が自分の英語会話能力が非常に低いということを認識していたので、黙って聞くだけでした。毎回違うトピックを示して、みんな一人ひとり自分自身が思ったことやそれについての感想などを英語で話すのがほんとうに楽しくて、とても興味深く、私も徐々にトピックについての議論へ参加するようになりました。考えてみれば、このEnglish Timeでは英語だけではなく、幅広い知識を学ぶことができるのが、私にとってこの講座に参加する楽しみです。私にはこの楽しむことは、何よりも英語学習のモチベーションになっている気がするのです。現在でも英語であまり話せませんが、この講座を通してほんとうにたくさんのものを得ることができました。特に、この講座を通じてたくさんの国の人々とコミュニケーションができました。参加して本当によかったです。自分を変えられるきっかけになったと思い

ます。一言で言うと、どんな言語を学ぶにも、人見知りだと自分で周りを切り捨てず、まず人と話すにはどうすれば良いかを知ることが何よりも大事だと認識することでした。

今でも、単語や会話の能力が低いので遠慮がありますが、自分の短所を克服して引き続き講座に楽しく厚かましく参加していくこと、そして自分のペースで楽しみながら学び続けることで、ゆっくり少しずつでも英会話スキルを高めていきたいと思います。また、この授業でたくさんのお友達に出会えたことにも感謝します。(永 良)

■■■ 今後の予定 ■■■

- ふたば国際プラザ
- ヒューマン・シネマ上映会
- 第14回 1月22日（金）18：00～
「最強のふたり（Intouchables）」フランス映画
- 第15回 2月26日（金）18：00～
「マイ・リトル・ヒーロー（마이 리틀 히어로）」韓国映画
- 日本のお正月体験～たこあげをしてみよう～
1月11日（月・祝）13：00～15：00
- 生活ガイダンス～税金について～
1月11日（月・祝）15：00～16：00
- 世界の働き方セミナー
2月11日（木・祝）13：00～15：00
- 就学前の子どものプレスクール
2021年1月9日（土）～3月27日（土）
（2月20日（土）、3月13日（土）を除く）
毎週土曜日10：30～12：00 全10回